地域分析
(16_宗谷二次医療圏)

分　析　項　目

○基本データ

01 総人口および高齢者人口の推移について
02 病院・有床診療所と病床数について
03 入退院経路からみた病院の機能について
04 医療従事者数（医師、看護職員、リハビリ職員）について

○国民健康保険（退職国保）、後期高齢者レセプトデータを用いた分析

05 患者の受療動向（外来全般）
06 患者の受療動向（入院全般）
07 疾患別の受療動向の分析
09 在宅医療の分析

○DPC導入の影響評価に関する調査を用いた分析

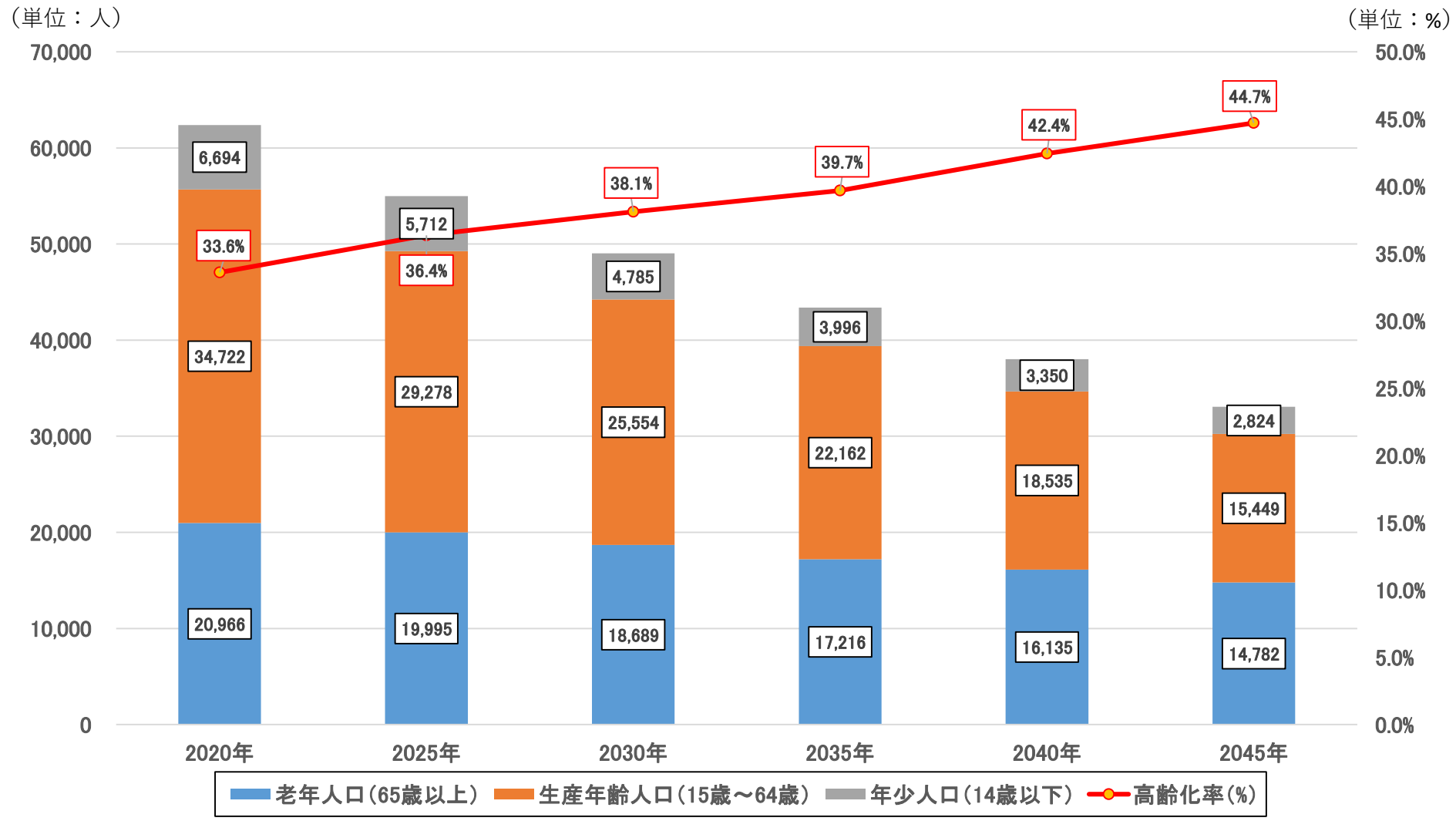
08 急性期医療の分析

○病床機能報告に係る各種データ

令和2年度データで記載のない医療機関は令和元年度のデータおよび、
北海道医療年鑑を用いた

01基本データ①_総人口

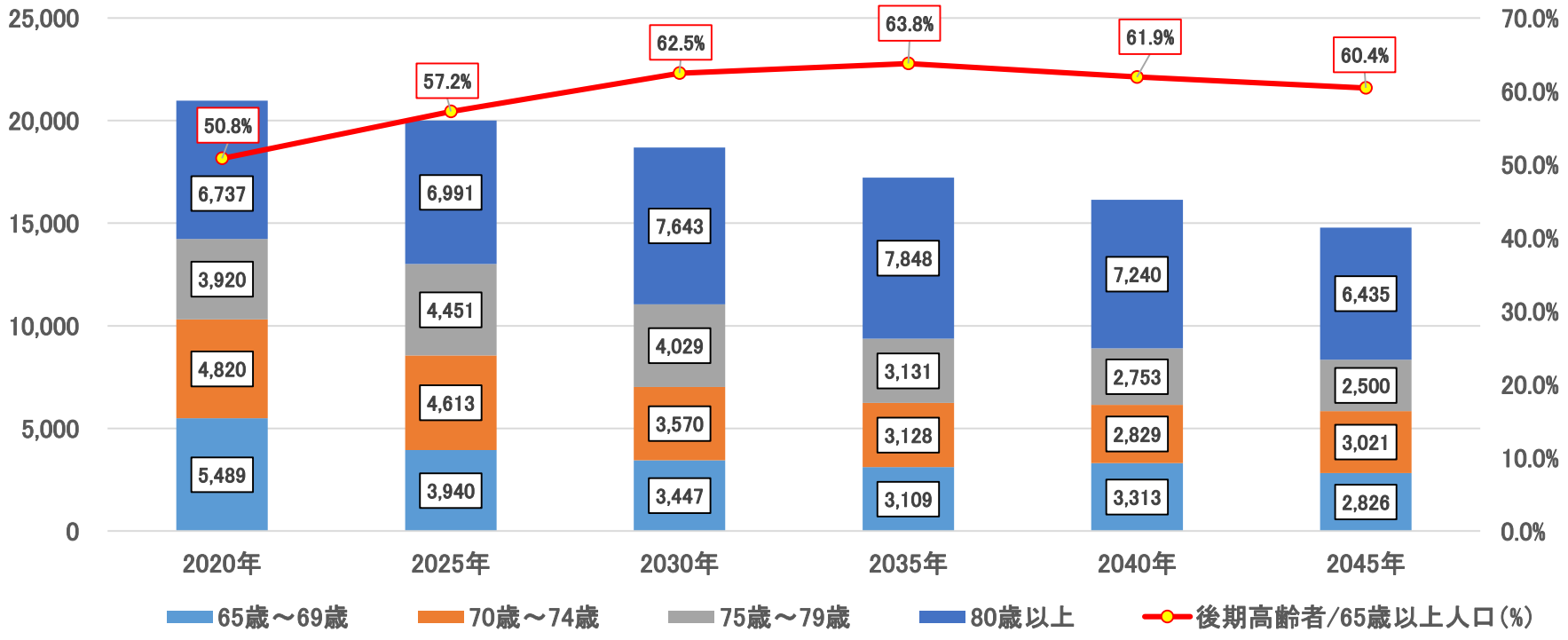
〇全ての人口が減少を続け、2040年には60.9%（2020年比）となる。
〇今後老年人口が増加する見込みはないが、高齢化率は2040年に42.4%となる。



医療計画策定支援データブックより作成

01基本データ②_高齢者人口

○2035年には老年人口の約64％が後期高齢者となる。

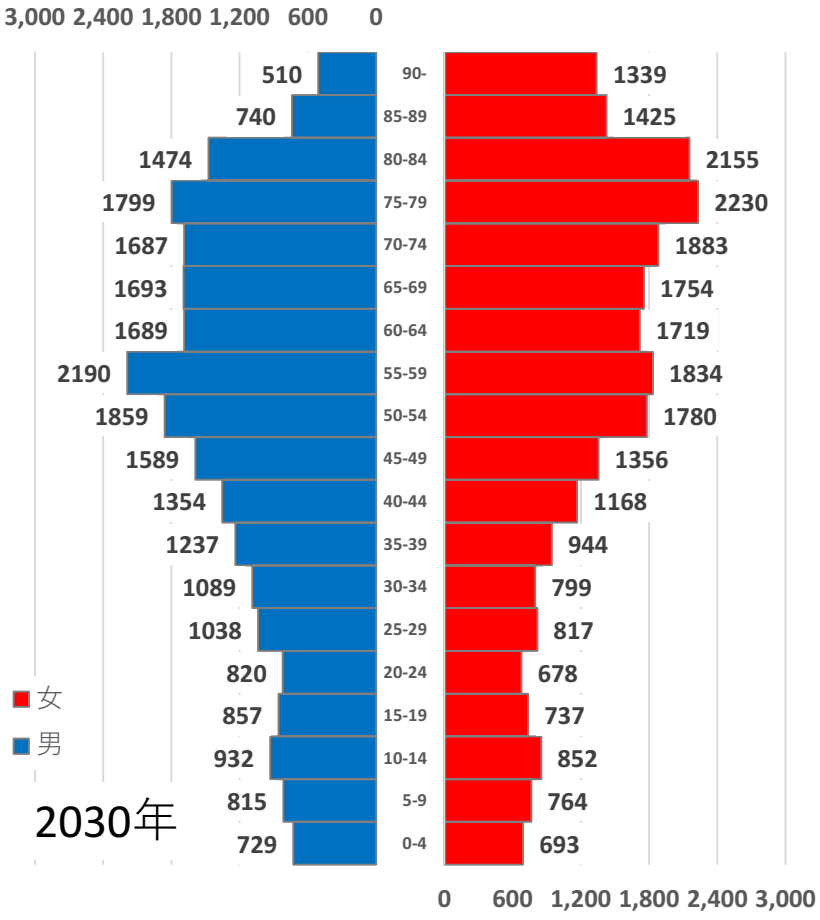


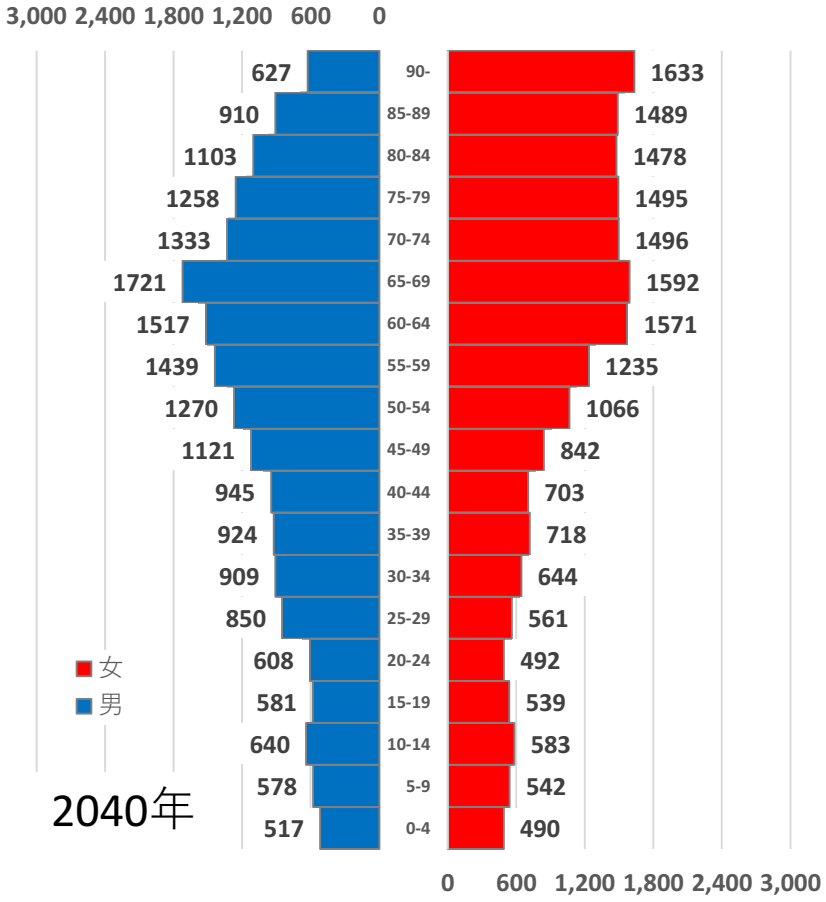
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
65歳～69歳	5,489	3,940	3,447	3,109	3,313	2,826
70歳～74歳	4,820	4,613	3,570	3,128	2,829	3,021
75歳～79歳	3,920	4,451	4,029	3,131	2,753	2,500
80歳以上	6,737	6,991	7,643	7,848	7,240	6,435
後期高齢者/65歳以上人口（%）	50.8%	57.2%	62.5%	63.8%	61.9%	60.4%

医療計画策定支援データブックより作成

01基本データ③_男女比

○後期高齢者の女性比率は2030年、2040年共に約61％で推移する。



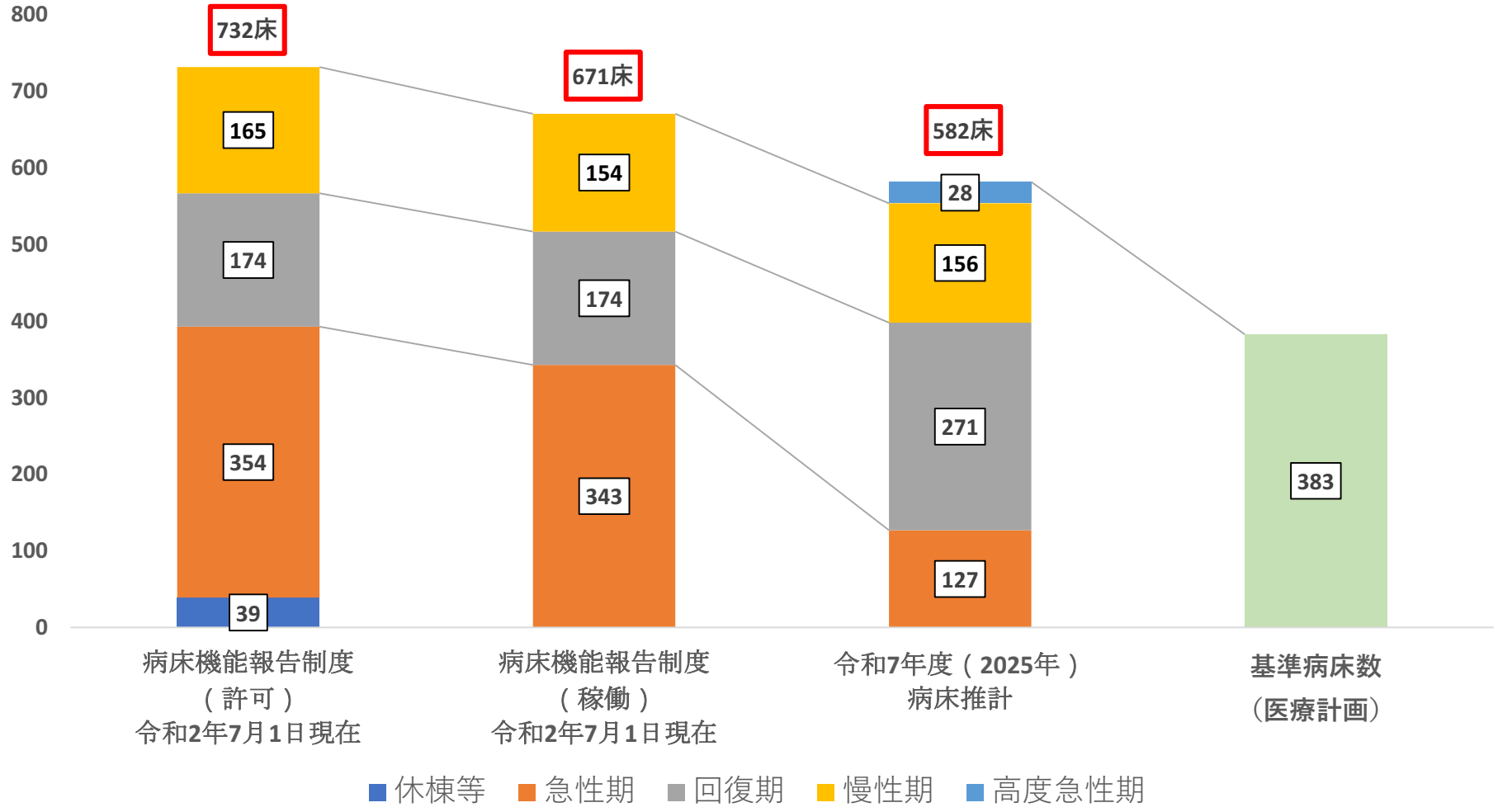


All Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA)より作成

02病床数

○宗谷二次医療圏における病床数（令和2年度データ）

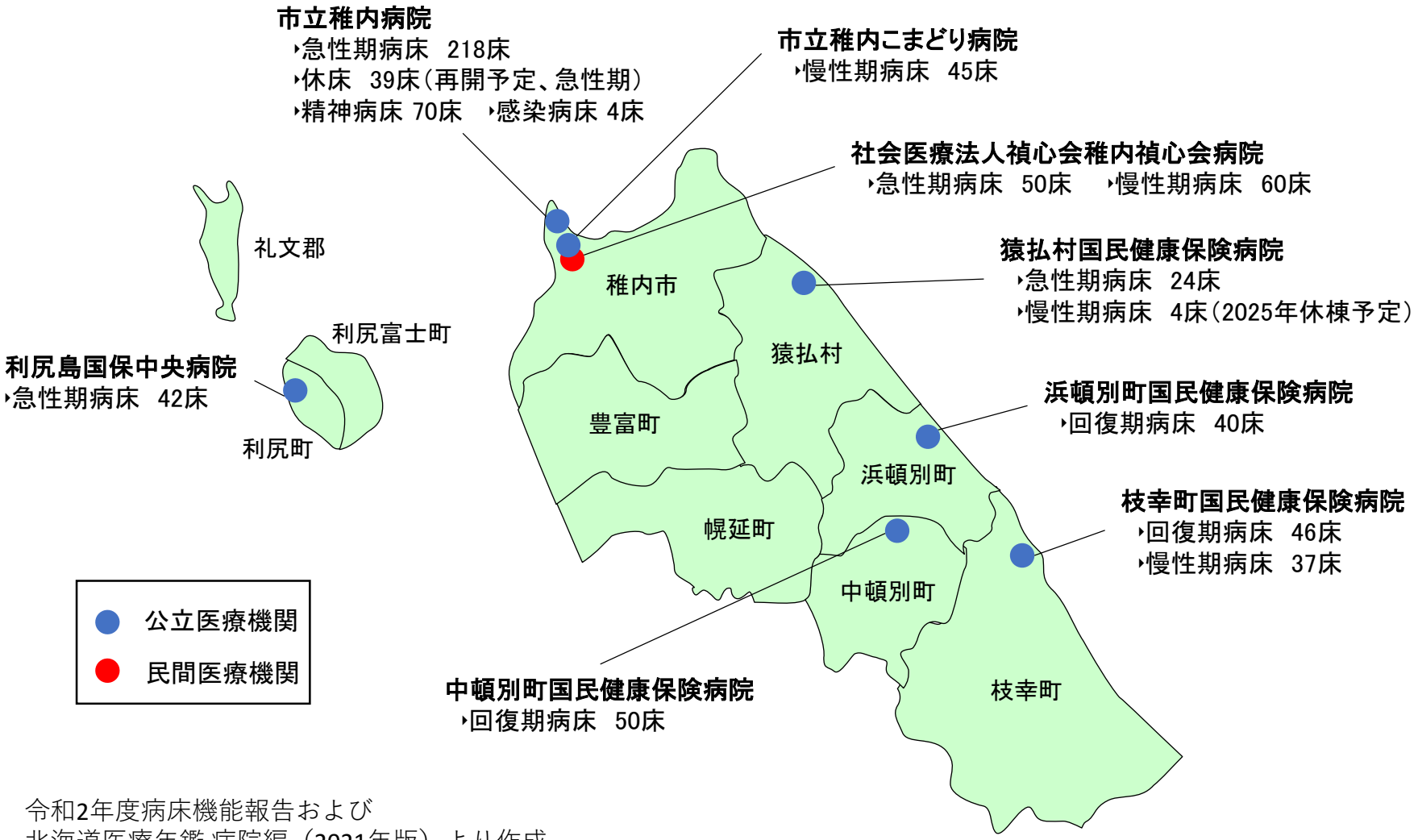
2025年の推計から逆算すると**高度急性期病床を28床、回復期病床を97床増床**する必要がある。



令和2年度病床機能報告から作成

02医療機関データ①_病院と病床数

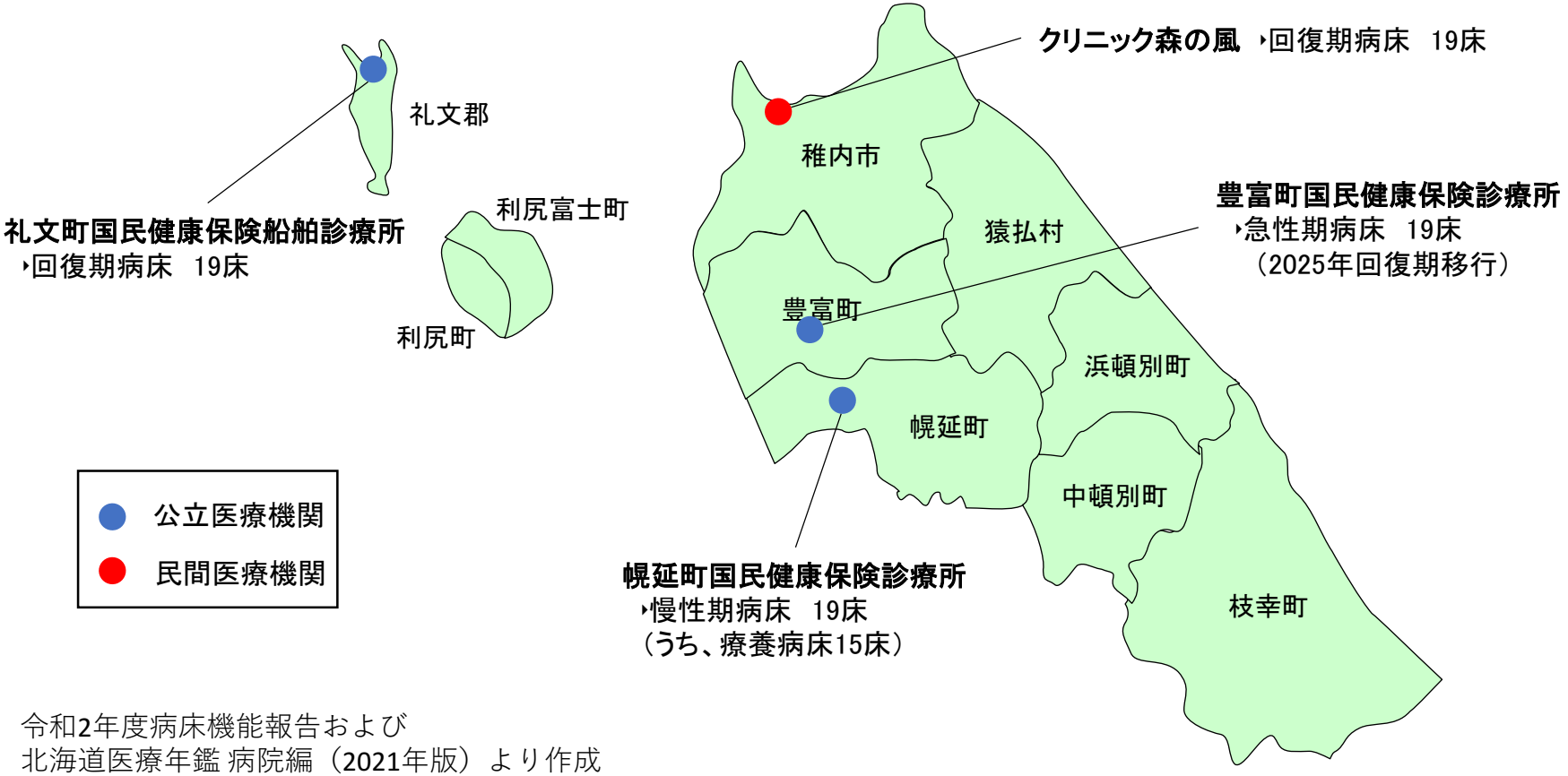
○市立稚内病院
　災害拠点病院、周産期母子医療センター、地域センター病院に指定
○圏域内に地域医療支援病院の指定機関はない



令和2年度病床機能報告および
北海道医療年鑑 病院編（2021年版）より作成

02医療機関データ②_有床診療所と病床数

地域	名称	開設主体	総病床数	休床数	稼働病床	診療科
稚内市	クリニック森の風	医療法人	19床	-	19床	内科・消化器科
幌延町	幌延町国民健康保険診療所	市町村	19床	7床	12床	内科・外科・心療内科・精神科
豊富町	豊富町国民健康保険診療所	市町村	19床	-	19床	内科・消化器科・小児科
礼文町	礼文町国民健康保険船舶診療所	市町村	19床	-	19床	内科・外科



令和2年度病床機能報告および
北海道医療年鑑 病院編（2021年版）より作成

【参考】病院・有床診療所と病床数

○令和2年度病床機能報告より作成	許可病床数	休床数※()はうち休棟中の病床数	稼働病床数 全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	病床利用率(%)	入院基本料	救急搬送受入数	備考
社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院	110	0	110	0	50	0	60	83.8	特定一般病棟入院料２ 療養病棟入院料２	232	
猿払村国民健康保険病院	28	15	13	0	13	0	0	47.8	地域一般入院料３	79	
市立稚内こまどり病院	45	0	45	0	0	0	45	74.8	療養病棟入院料２	＊	
市立稚内病院	258	39 (39)	219	0	219	0	0	62.4	急性期一般入院料１	1,070	休棟中病床は2025年再開予定。災害拠点病院、周産期母子医療センター、地域センター病院
枝幸町国民健康保険病院	83	0	83	0	0	46	37	73.8	地域一般入院料３ 療養病棟入院料２	306	
中頓別町国民健康保険病院	50	0	50	0	0	50	0	20.2	地域一般入院料３	53	
浜頓別町国民健康保険病院	40	0	40	0	0	40	0	64.4	地域一般入院料３	68	
利尻島国保中央病院	42	0	42	0	42	0	0	33.1	特定一般病棟入院料１	156	
クリニック森の風	19	0	19	0	0	19	0	46.9	有床診療所	＊	
幌延町国民健康保険診療所	19	7	12	0	0	0	12	61.6	有床診療所	26	
豊富町国民健康保険診療所	19	0	19	0	19	0	0	49.6	有床診療所	130	

令和2年度病床機能報告より作成
病床利用率＝在棟患者延べ数（年間）÷（稼働病床数×365）×100
救急搬送受入数＝救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数
礼文町国保船泊診療所（回復期19床）は含めず

＊：件数が10件未満のため未表示

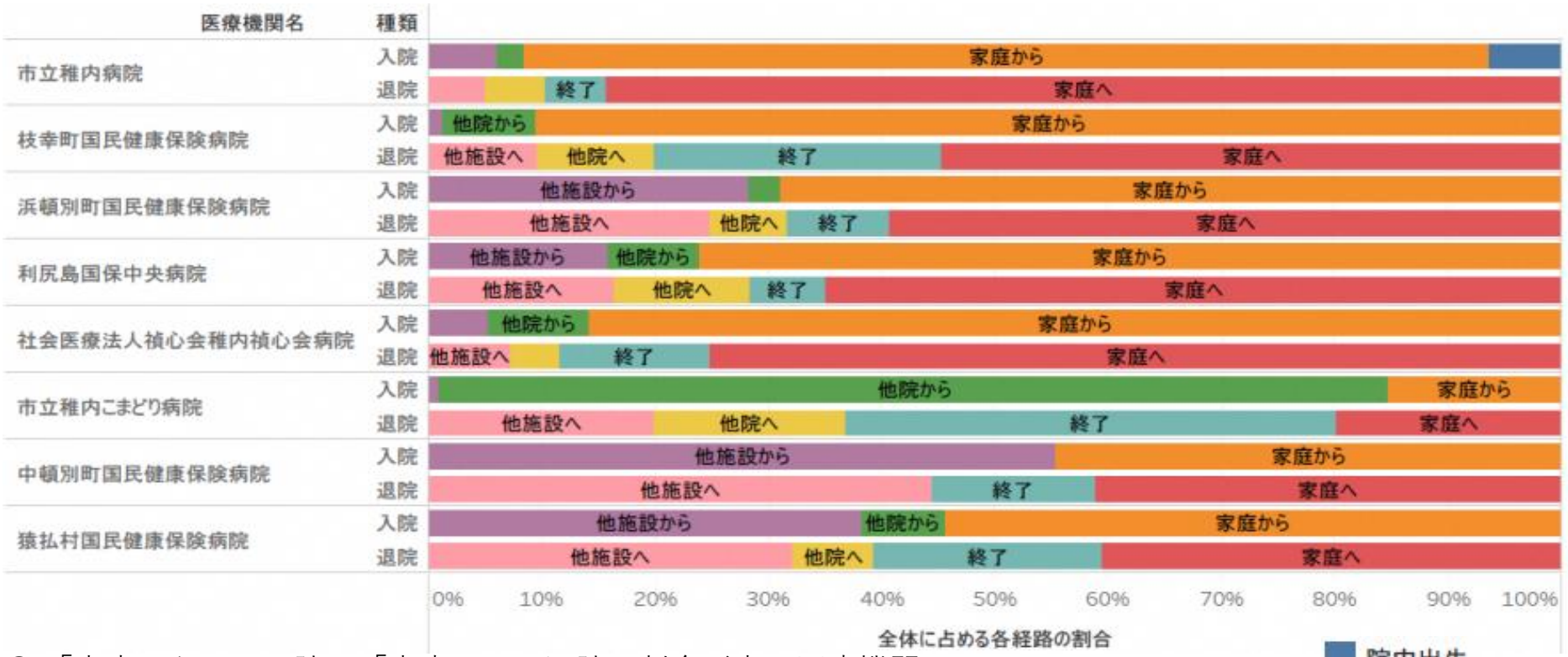
02医療機関データ③_無床診療所（クリニック）

所在地	名称	開設主体	診療科
稚内市	えきまえ診療所	個人	内科
枝幸町	枝幸町国民健康保険歌登診療所	枝幸町	内科,外科,整形外科
稚内市	こどもクリニックはぐ	個人	小児科,内科
稚内市	さくらい整形外科医院	個人	整形外科
猿払村	猿払村国民健康保険浅茅野診療所	猿払村	内科,小児科
稚内市	市立稚内病院附属上勇知診療所	稚内市	内科
稚内市	市立稚内病院附属宗谷診療所	稚内市	内科,小児科,外科
稚内市	市立稚内病院付属沼川診療所	稚内市	内科,小児科,外科
稚内市	道北勤医協宗谷医院	社会医療法人	内科
豊富町	豊富町国民健康保険兜沼診療所	豊富町	内科,小児科,外科
稚内市	西岡整形外科クリニック	個人	整形外科,リハビリ科,リウマチ科
利尻富士町	北海道立鬼脇診療所	北海道	内科,外科,整形外科
礼文町	北海道立香深診療所	北海道	内科,小児科
稚内市	医療法人社団オロロン会南稚内クリニック	医療法人	内科,小児科,外科
利尻富士町	利尻富士町国民健康保険鴛泊診療所	利尻富士町	内科,外科,整形外科
幌延町	幌延町問寒別国民健康保険診療所	幌延町	内科,外科
稚内市	わっかない耳鼻咽喉科	医療法人	耳鼻咽喉科

※特別養護老人ホーム、養護老人ホーム等医務室、保健所は除く

北海道医療年鑑 診療所編（2021年版）より作成

03病院機能_入退院経路



○「家庭から」の入院、「家庭へ」の退院の割合が高い医療機関
例①市立稚内病院、②枝幸町国保、②稚内禎心会病院

高度急性期あるいは急性期機能を担っている可能性がある。

○ 入院に「他施設から」「他院から」「家庭から」が混在し、
退院も「終了」「他施設へ」「他院へ」「家庭へ」が混在する医療機関
例①浜頓別町国保、②利尻島国保、③中頓別町国保、③猿払村国保病院など

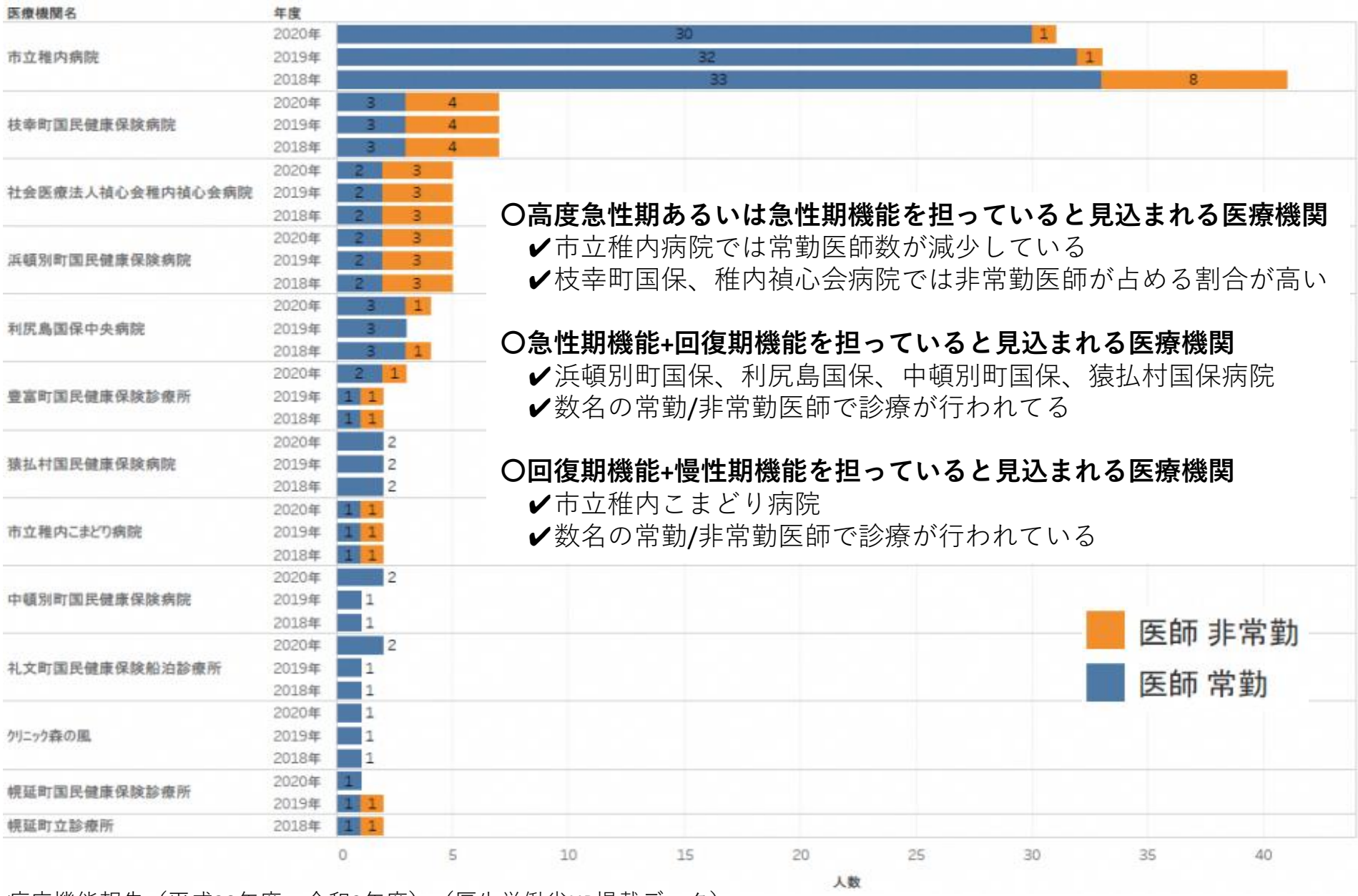
急性期機能+回復期機能を担っている可能性がある。

○「他院から」の入院、「死亡」の退院割合が高い医療機関
例①市立稚内こまどり病院

回復期機能+慢性期機能を担っている可能性がある。

病床機能報告令和2年度より作成

04医療従事者数①_医師



〇高度急性期あるいは急性期機能を担っていると見込まれる医療機関

✔市立稚内病院では常勤医師数が減少している

✔枝幸町国保、稚内禎心会病院では非常勤医師が占める割合が高い

〇急性期機能+回復期機能を担っていると見込まれる医療機関

✔浜頓別町国保、利尻島国保、中頓別町国保、猿払村国保病院

✔数名の常勤/非常勤医師で診療が行われてる

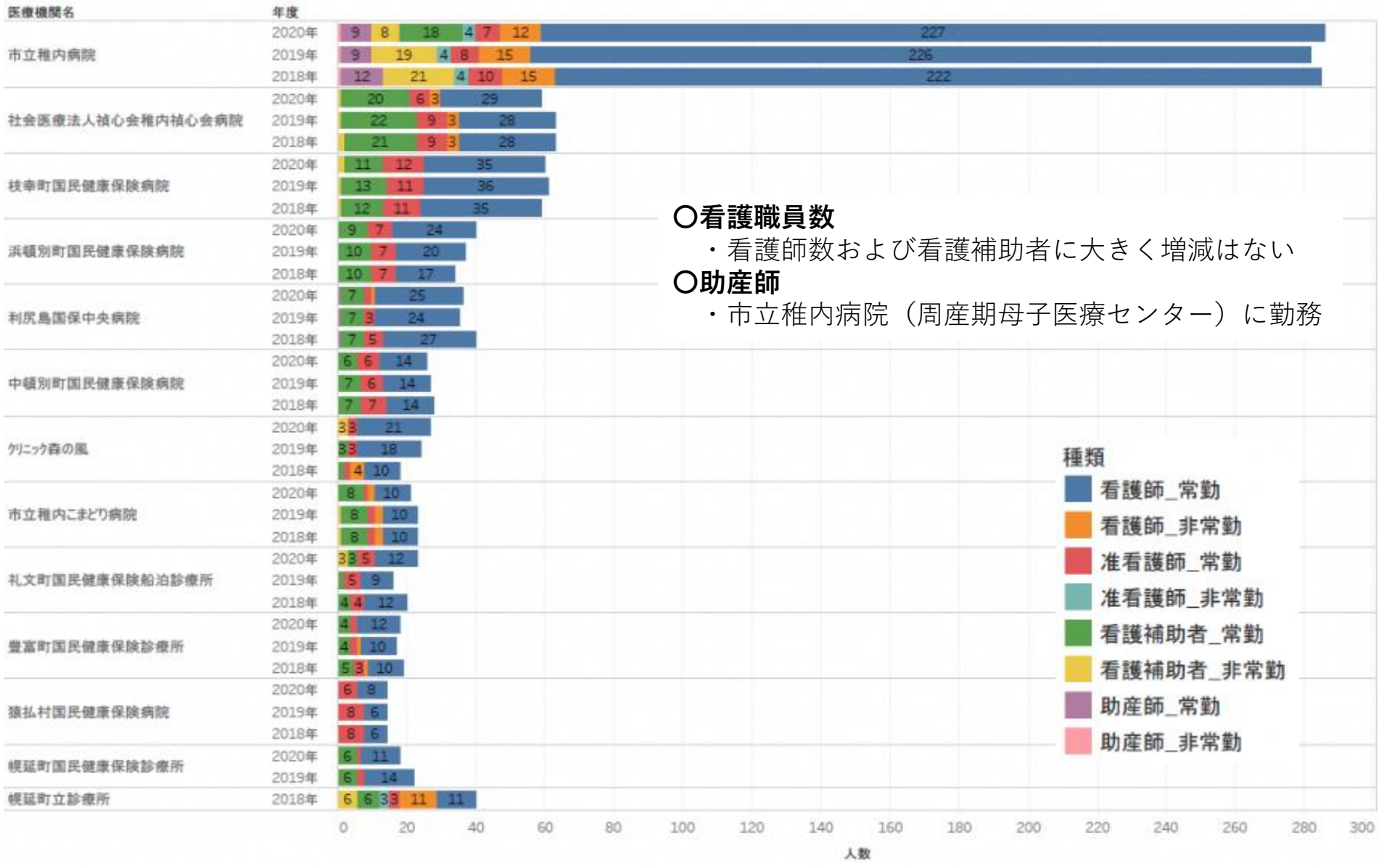
〇回復期機能+慢性期機能を担っていると見込まれる医療機関

✔市立稚内こまどり病院

✔数名の常勤/非常勤医師で診療が行われている

病床機能報告（平成30年度～令和2年度）（厚生労働省HP掲載データ）

04医療従事者数②_看護職員



〇看護職員数

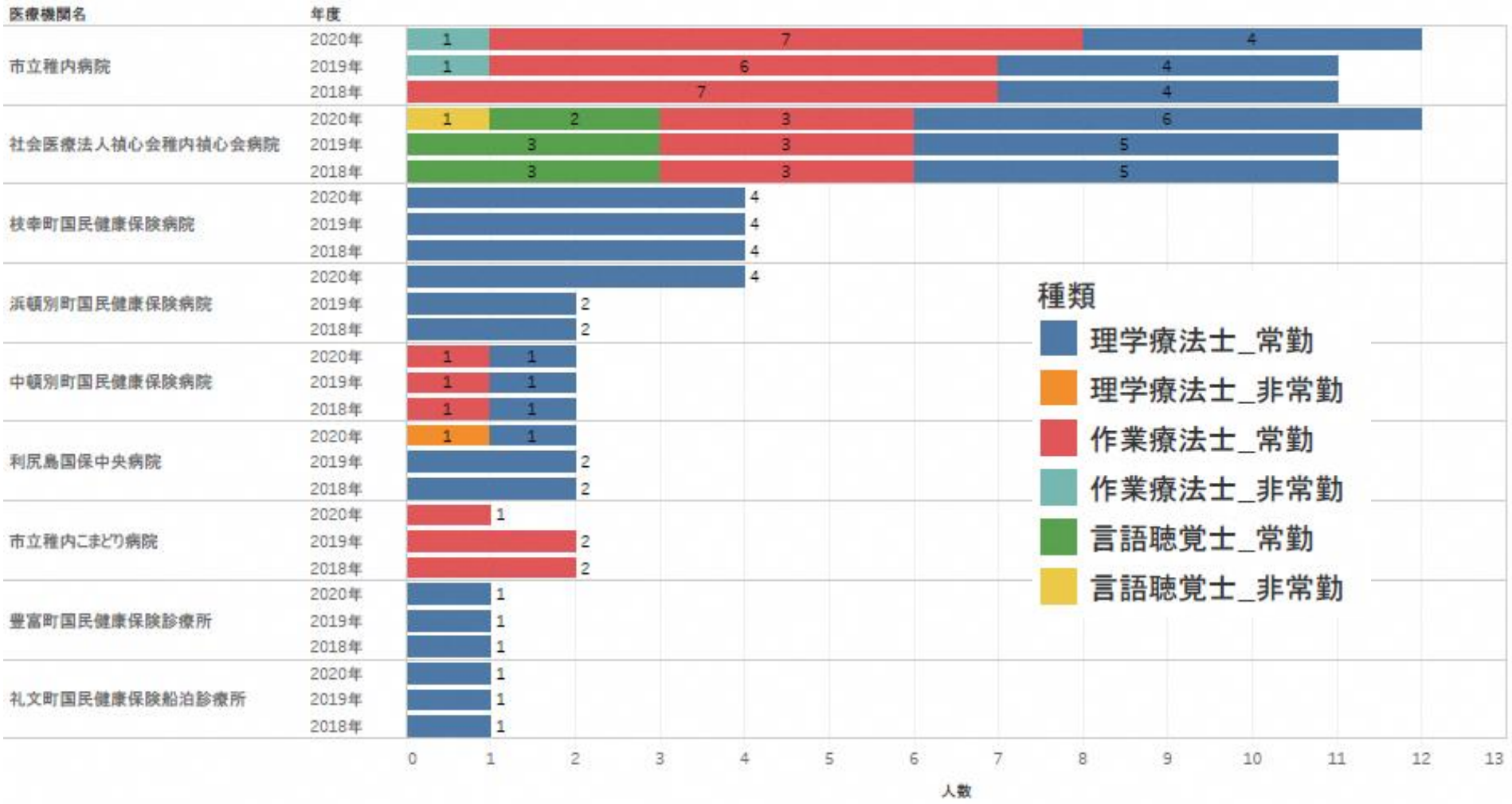
・看護師数および看護補助者に大きく増減はない

〇助産師

・市立稚内病院（周産期母子医療センター）に勤務

病床機能報告（平成30年度～令和2年度）（厚生労働省HP掲載データ）

04医療従事者数③_理学療法士・作業療法士



〇療法士の雇用は安定しているが、回復期病床の増床に向けた施策を継続する必要がある。
〇今後働き手が減少するなかで療法士の確保がさらに困難になる可能性がある。

病床機能報告（平成30年度～令和2年度）（厚生労働省HP掲載データ）

04医療従事者数_まとめ

〇医師数

『市立稚内病院』を除く医療機関では数名の医師で診療が行われている。
『枝幸国保病院』,『稚内禎心会病院』,『浜頓別国保病院』では、
非常勤医師の占める割合が高い。

〇看護職員数・補助者数

各医療機関の常勤看護師数、看護補助者数に大きな減少はない。
看護職員に占める准看護師の割合が低く、看護師の割合が高い。

〇理学療法士・作業療法士

理学療法士・作業療法士は回復期病床の確保に必要であるが、
圏域内で充足しているとは言えず、回復期病床の増床の足かせになっている。